

夏越大祓式

知らず知らずに犯した罪や過ち、心身の穢れを祓い清める神事を「大祓」といいます。毎年六月と十二月の晦日の二回行われます。

六月の大祓を夏越祓または、水無月祓ともいいます。夏越祓では茅の輪を八の字に潜り抜け、さらに「人形」を用いて、身体を撫で息を吹きかけ自分の罪・穢れを移し自身の内外を清めます。ご家族でご参列ください。

日時 六月三十日 午後六時
斎場 総社神社社務所前

みなづき
水無月の

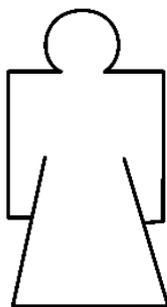
なごし はら
夏越の祓えする人は

ちとせ いのちの
千歳の命延ぶというなり

輪を潜り抜けるときに、右の和歌を唱えます



茅の輪くぐり



ひとがた
「人形」